

千葉県立佐原病院



地域の安心と安全を守り
皆様から信頼される病院を目指して

〈2025年度版〉

Chiba Prefectural Sawara Hospital



千葉県マスコット
キャラクターチーパくん

「ときどき入院

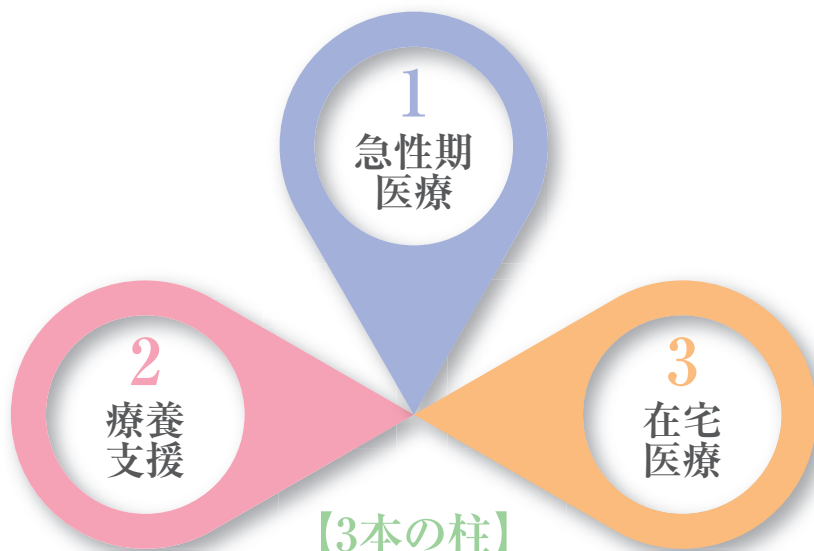
ほぼ在宅」を

目指して



千葉県立佐原病院憲章

1. 県立佐原病院は、患者の立場に立った心温かな病院をめざします。
2. 県立佐原病院は、地域の中核的な病院として高度かつ良質な機能を持った病院をめざします。
3. 県立佐原病院は、開かれた病院として他の医療機関と共に皆さんが安心できる地域医療に努めます。

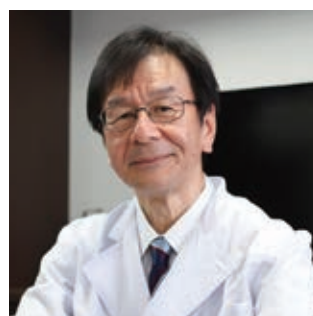


佐原病院の具体的な取り組み

病院長挨拶

佐原病院は地域の皆様が安心して住み慣れたご自宅での生活を送れるようサポート体制を充実させています。急性期医療(救急対応)だけでは退院後の生活に支障のあるご高齢の方々のために、地域医療包括ケア病棟、訪問診療、24時間365日体制の訪問看護ステーションを活用した在宅療養支援を行っています。「ときどき入院、ほぼ在宅」が在宅療養支援病院である佐原病院の目指す医療です。

また、昨年より医師の健康確保のため「医師の働き方改革」が始まり、残業時間の縮小に努めております。皆様方におかれましても日中の診療時間内の受診につきましてご協力をお願い申し上げます。



病院長 露口利夫

副病院長挨拶

副病院長に就任して3年目を迎えますが、もっぱら外科診療に従事する日々を過ごしております。地域の先生方の支えもあり最近消化器癌の手術例も増加してきています。高齢で進行した症例が多く、抗がん剤を併用する患者さんも多いですが、当院では100を超える抗がん剤治療のレジメンを登録しており安全な化学療法を行えるような体制を構築しています。千葉県がんセンターの7年間で培った経験を活かし、地域のがん患者さんに貢献できるよう精進してまいります。

また各診療科の最新の診療内容や治療成績を迅速にお知らせできるように、わかりやすいホームページに更新したいと考えています。

より開かれた佐原病院を目指し、安全安心の医療を提供できるよう、副病院長として努力していきたいと思っております。



副病院長 高山 亘

1

急性期
医療

地域の患者のニーズに十分に対応できる 外来・入院機能を確保します

※常勤医が所属する診療科 その他診療科は裏表紙へ記載

内科

消化器内科では消化管疾患・肝臓・胆道・膵臓疾患の診断・治療を行っています。

内視鏡検査・治療では、胆道疾患や膵疾患に対する超音波内視鏡および超音波内視鏡穿刺による診断と治療を得意とし、肝疾患治療では肝癌に対するラジオ波焼灼療法や血管化学塞栓術も行っていきます。循環器内科では、主に心不全と不整脈の診療を行っています。

消化器内科、循環器内科のほか、外来診療は専門外来として千葉大学などとの連携により、呼吸器内科、神経内科、血液内科、肝臓専門外来、糖尿病内科の診療も行っていきます。

入院については専門領域に関わらず幅広く内科全般の患者さんの診療を行っています。



医療局 局長
中堀 進

整形外科

腰痛、関節痛、脊椎疾患、手足のしびれ、骨折や靭帯損傷などの外傷、骨粗鬆症、関節リウマチなど骨・筋・神経といった運動器

疾患全般の診療に対応しています。速やかな診断をするために、CTやMRI等を即日対応できるように努め、適切な診断・治療を念頭に日々診療を行っています。また、手術が必要な場合には合併症を軽減するため、可能な限り早急な対応を心掛けています。

このほか専門外来として、**膝スポーツ外来**、**肩・肘関節外来**および**脊椎外来**も開設しています。

なお、令和6年度の手術実績は674件あり、手術後は早期にリハビリテーションを開始し、機能の再建・社会復帰を目標としています。



医長
伊藤 陽介

泌尿器科

頻尿や尿漏れ、おしっこが出づら、排尿時の痛みといった下部尿路障害を主体に**泌尿器科全般**に対応いたします。特に下部尿路障害は高齢の方のみではなく、お子さんや神経疾患・難病を有する方々にも起こりますので、おねしょや神経因性膀胱、間質性膀胱炎といった**「おしっこ」に関わる症状**であれば、一度当科の受診をご検討ください。

手術は**内視鏡を入れて行う手術**を積極的にしています。尿道カテーテル留置をやめたくてもやめられない方にもカテーテル管理から離脱できるよう最大限対応いたします。



主任医長
加賀 勘家

外科

内視鏡検査やCT、MRI、超音波検査等を行い、消化器(食道、胃、大腸、肝臓、すい臓、胆のう、胆管)の悪性腫瘍を迅速に診断し治療するように努めています。手術は患者さんの負担を考慮し**腹腔鏡手術**を診断後速やかに行います。

手術のほかに効果が期待できる患者さんに対して、抗がん剤を用いた化学療法も行います。単径ヘルニアは、ほぼ全例腹腔鏡手術にて実施しており早期に退院できます。

乳腺外来では検査や診断などの専門的な診療を行っています。



外科部長
角田 慎輔

脳神経外科

一般外来診療では、**頭部外傷、頭痛、めまい・ふらつき、運動麻痺・脱力、意識障害、言語・構音障害**を主訴とする患者さんが主に受診されています。このほか視機能異常、不随意運動・振戦、認知機能低下などの症状の患者さんにも受診されていますが、脳神経外科的病変が認められない場合は、脳神経内科へ紹介させていただくことがほとんどです。また、入院診療の対応もしています。

詳しい診療内容につきましては、ホームページでご案内しています。



脳神経外科部長
川崎 宏一郎

歯科

う蝕や歯周炎、義歯などの**一般診療**をはじめ、地域診療所では対応困難な顎顔面領域の炎症、外傷等の**口腔外科領域の疾患**の診療を行っています。

また、病院歯科の特徴を生かし、入院下での**全身麻酔手術**のほか、医科歯科連携した周術期口腔ケア、**全身疾患を有する患者様**や知的障害などの**心身障害を持つ患者様**の歯科治療を行っています。



歯科部長
坂本 洋右

精神科

精神科全般(統合失調症、気分障害、認知症、発達障害、てんかん等)を診療します。

日本人は、心のつらさを誰にも相談せず抱え込んでしまう人が多いのですが、心も身体と同様に早めの治療が効果的です。どうぞ遠慮なくご相談ください。



精神科部長
佐藤 奈美

麻酔科

手術をうける患者さんの麻酔管理を担当いたします。

単に痛みを感じずに眠っていただくことにとどまらず、手術という大きなストレスから患者さんを守っていく役割を果たしていきます。そのために、患者さんの持病や、最近の体調等を把握して、最善の麻酔を選択していきよう努めてまいります。麻酔に対するご希望や不安に思いっしやる事があれば、主治医・入院病棟のスタッフを介してご連絡下さい。



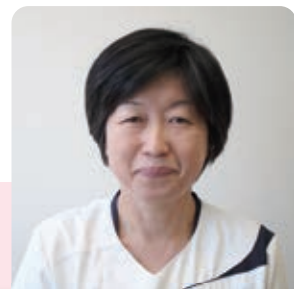
麻酔科部長
今井 美絵

2

療養 支援

「ときどき入院 ほぼ在宅」の 実現に取り組めます

佐原病院では、住み慣れた地域で安心して療養生活が送れるように、患者さん一人ひとりと向き合い、外来・入院・在宅と切れ目のない継続的な医療を提供しております。療養においての困りごと、不安なこと等ありましたら近くの職員へ気軽にお声かけ下さい。皆さんと共に「治し支える医療」を実践してまいります。



看護局長 小安 麻子

地域包括ケア病棟

自宅の環境に合わせたリハビリや、生活支援サービスの提案や調整を行い、安心して退院できるよう支援しています。



リハビリの様子

地域包括ケア病棟

急性期の治療が終了し、病状が安定した患者に対して、在宅復帰支援を行う病棟です。退院の準備期間を含め、期限内(60日)に自宅や在宅系の施設へ退院になります。



佐原病院の医療チーム

医師、看護師、認定看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士など院内の様々な職種がチーム構成員となり入院患者さんの状態を観察し、よりよい医療やケアが提供できるようにチームで取り組んでいます。

褥瘡対策チーム

感染対策チーム

緩和ケアチーム

排尿ケアチーム

認知症ケアチーム



排尿ケアチームメンバー



チームカンファレンス・ラウンド風景

看護相談外来

専門的な知識や技術をもった認定看護師が無料で相談をお受けします。患者さんの思いやご家族に寄り添い、安心して自宅で過ごせるように、院内はもちろん地域の様々な職種の方々と連携を取り支援しています。

また、医療機関や介護施設の方々の相談にも対応しています。お気軽にお声かけ下さい。



健康管理センター

病気の早期発見・早期治療をめざして人間ドックを実施しています。いつまでも健康で豊かな生活をおくることができるよう定期的な検診をお勧めします。

お電話でご予約・ご相談を受け付けています。

☎0478-55-9070

(健康管理センター直通)



入退院支援室

患者さんやご家族が安心して入院・退院が出来るように支援しています。退院後の療養環境、福祉制度、介護サービスについての説明、かかりつけ医の紹介などを行っています。病棟の退院支援看護師またはMSWにご相談ください。



地域医療連携室

地域の医療機関や行政機関、様々な保健・福祉施設との円滑な連携に努め、患者さんに切れ目のない医療・看護が提供できるよう支援・調整をしています。



3

在宅医療

退院後の療養生活や、住み慣れた自宅で暮らし続けられるようにサポートします

訪問看護ステーションさわら

訪問看護ステーションさわらでは「寄り添う看護」「あきらめない看護」を理念に掲げ、24時間365日訪問看護を行っています。ご利用いただいている年齢層も幅広く、乳幼児からご高齢の方がおり、がんや老衰、進行性の難病や医療依存度の高い方、最期まで自宅で過ごしたい方などへ専門的な看護を提供しています。

また、地域の皆様が安心して望む場所で過ごせるように、情報の提供や相談を行い在宅医療の充実と推進を図っています。



訪問診療



在宅医療担当医師
山本 宏



在宅医療担当医師
北崎 等

訪問診療では、通院が困難で自宅での診療を希望している患者さんをお受けしています。

訪問診療の件数は、令和元年度の390件から令和6年度は742件と増加しており、在宅療養支援病院として香取地域の皆様の需要にお応えしています。

これからも地域の中核病院として皆様の要望にお応えするために、在宅医療の体制を充実させ、当院併設の訪問看護ステーションさわら等と連携し訪問診療を行っていきます。

治し支える医療 佐原病院が目指す姿

